

交通バリアフリーニュース

バスの乗り方教室・バリアフリー教室の開催



香川県高松市朝日町



平成21年6月12日(金)、ことでんバス(株)本社車庫において、小豆島町立星城小学校2学年他40名が参加してバスの乗り方教室・バリアフリー教室を開催しました。

まず、並べられたノンステップバスと通常のバスを見比べて乗降口の違いなどを確認した後、整理券を取りながらバス車内に乗り込み、講師から運賃表の見方や降車ブザーなどの説明を聞きました。

お金での乗降体験後、ICカード「IruCa」を使用しての乗降も体験し、児童はICカードの便利さに驚いているようでした。

この後、車いす利用者がバスを利用する場合の乗降介助について、代表の児童が車いすに乗車し、スロープを使用した乗降を体験しました。児童は乗降の様子ほかに車内に車いすを固定した様子も見学しました。



講師から運賃表の見方などの話を熱心に聞いています



ICカードを使って乗降体験



バスの乗り方を勉強したあと、実際に乗降体験



バスに設置されたスロープ



車いすに乗車した児童が介助を受けながらゆっくりとバスに乗り込みます

この後、アイマスクを装着した疑似体験者と介助者が2名1組になり、視覚障害者疑似・介助の体験をバスを使用して行いました。

介助者が「段差があります」と声をかけながらバス乗車口の手すりに手を誘導し、ゆっくりと乗車します。座席に座らせたあと、降車口へ。介助者が先に降車し、段差があることを伝えた後、ゆっくりと降車。初めて体験した児童でしたが、うまく介助ができていたようでした。

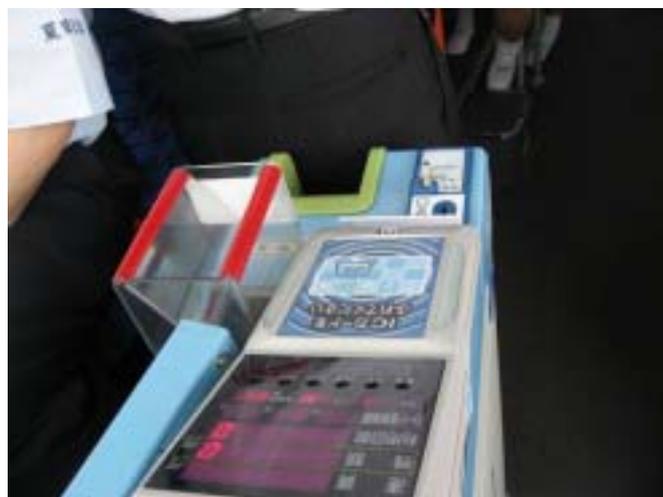
体験終了後、児童のみなさんに今回の体験を生かして、町で困っている人を見かけたら声をかけてみてくださいとお願いして教室を終了しました。



アイマスクをした体験者をゆっくりと誘導します



暑い中、真剣に話を聞いています



ICカードでタッチします

～ 香川県高松市塩江町 ～

平成21年7月3日(金)、四国運輸局と香川運輸支局は、香川県高松市塩江町において「バリアフリー教室・バスの乗り方教室」を開催しました。

教室には高松市立塩江小学校と上西小学校児童他29名が参加。ことでんバス(株)の協力で、ノンステップバス車両と通常のバス車両を持ち込み、整理券の取り方から運賃表の見方など、基本的なバスの乗り方、そしてICカードを使った乗り方についても勉強しました。

また、バリアフリーに対応したノンステップバス車両の特徴を学習したり、乗降する車いす利用者の介助の仕方を間近で見学しました。

全国脊髄損傷者連合会香川県支部や高松市社会福祉協議会の講師から、車いす利用者の介助方法を教わったり、視覚障害者の疑似体験のためにアイマスクを着用して実際にバスに乗降するなどの介助体験を行いました。

参加した児童は、講師の話の聞いたり実際に介助体験をすることによって、相手を思いやり、相手の立場にたって行動することの大切さを学びました。



バスに乗るときは順番に



代表の児童が車いすに乗ってバスに乗車



ICカードを使用してバスに乗車



バスから降りるときもICカードでタッチ



田村講師から車いすについての話を聞く児童



車いすに乗って角材などの障害を越える体験



アイマスクを着用した体験者を介助しながらバスに乗り込む



シニアポーズを着用して介助を受けながらバスに乗り込む



体験後、感想を発表する児童



修了証の授与の様子

消費者行政インタビュー

四国運輸局では、消費者ニーズや消費者行政上の課題を把握し、その結果を行政に役立てていくことを目的として公共交通機関の利用者等を対象にインタビューを行っています。

今回は、高松市で障害者のみなさんからの相談におこたえし、支援をしている「障害者生活支援センターたかまつ」の相談支援専門員 森川麻理さんに支援センターの事業内容やバリアフリーに関するお話をお伺いしました。



障害者生活支援センターたかまつ
相談支援専門員 森川 麻理さん

障害者生活支援センターたかまつについて教えてください

障害者生活支援センターたかまつは、地域にお住まいの障害者のみなさんやそのご家族の方たちのさまざまな相談におこたえし、支援していくための窓口として平成12年11月に設立されました。

当支援センターは、かがわ総合リハビリテーションセンターを母体とし、高松市・三木町・直島町の1市2町の委託を受けた障害者自立支援法に基づく委託相談支援事業所として、この地域にお住まいの方を対象に支援を行っています。

当初は、身体障害者の方を対象としていましたが、自立支援法が施行されてからは障害の壁を取り払うということで三障害（身体、知的、精神）全ての方に対応いたします。

どのような支援をされているのですか？

まず、在宅福祉サービスの利用援助として、自宅（在宅）で生活していく中で「あれが出来ない」「これが足りない」「これに困っている」等の相談に対して、どういう支援がマッチするかとか、どういうサービスが受けられるのか、ということのコーディネート（直接サービスを行うのではなくサービスや制度を組み合わせる計画・調整をする）を行うのが私たちの仕事です。また、いろんな情報提供をすることも大事な役割です。

そのほかに、権利擁護のための相談や障害のある当事者相談員（ピアカウンセラー）が悩みを聞き、話し合っって問題を解決したり必要な情報を提供するピアカウンセリング、相談内容に応じて医療機関、保健センター等他の専門機関の紹介等も行っています。

また、障害者の支援のための講演会や講座を年2回程度開催しています。

どのような相談が多いのですか？

相談内容は様々で生活に関すること、住宅に関すること、外出に関すること等、いろいろな相談を受けています。対象者はすべての障害者とそのご家族の方々です。電話、メール、来所、訪問といろんな形での相談を4人の相談員で受けています。

相談員になられたきっかけは？

私は元々は支援センターの母体である、かがわ総合リハビリテーションセンター内の身体障害者の更生施設（現在は成人支援施設）の職員だったのですが、支援センターのお仕事の話をしていただき相談員となりました。今年で5年目になります。

施設退所後の生活支援を支援センターが担うこともあるので、まるっきり違う仕事というわけではなく、密接につながっています。



相談支援専門員のみなさん

支援センターまではどのように来られる方が多いのですか？

支援センターへの公共交通機関は、約1時間に1本程度のバスしかなく（養護学校バス停から300m 約10分）不便であるため自動車での来所が多くなっています。でもこちらに来る路線バスはノンステップバスが多いので助かっています。運転手さんにも慣れた方が多く、親切に対応していただいています。

またリハビリテーションセンターの成人支援施設では、障害のある方がこの路線バスや電車を利用して美術館やショッピングセンター等へ出かけて行く、公共交通機関利用訓練や外出訓練を行っています。

バリアフリーについてどのように感じていますか？

何年か前に施設の旅行で車いす利用者の方々と大阪に行く機会があったんですが、駅などで駅員さんが車いす利用者を見つけると直ぐに駆け寄ってきて介助をしてくれてたんです。すごく良いサービスを行っていると思いました。お客様に対してのそういう気遣いがあると障害者の方も気持ちよく利用できると思いました。

高松のバスの運転手さんに気遣いをしてくれる方が多くなってきたと思います。高松でもそういう教育がされてきたのかなあと思います。

障害のある方が外出したい時の「移動支援」のサービスの相談もよくあるんですが、どうしても車（介護タクシー）を所有している介護事業者さんを希望することがほとんどで、電車・バスで外出する人は本当に少ないです。

それはどうしてでしょうか？

小さいときから車に乗り慣れており、また車の方が便利だから公共交通機関を利用する機会が無かったんだろうと思います。小さいときから電車やバスを使うような習慣を持っていれば、大きくなって普通に電車やバスを利用すると思います。ただ、利用しようと思っても様々な理由で利用できない場合もあることは確かです。

障害者の方は車で移動することが多いことから、「あまり町中で障害者を見かけない」という声をよく聞きます。だから、見ないし会わないし接する機会がありません。そのため、対応する機会もないわけですから多くのの人たちは障害のある方にどういうふうに接して良いか分からないのだと思います。

障害者のことを知ってもらうには障害者の人もどんどん出て行かなければいけないと思うし、お互いが歩み寄る気持ちが必要なんだと思います。

行政に対して意見・要望はありますか？

物理的にすべてのバリアフリーはなかなか難しいと思いますが「心のバリアフリー」でカバーして頂ければ障害者の人もより外出しやすくなると思います。その為には、一般の人も障害のある人のためにどういう手助けをしたら良いのかということ普段の生活の中でいっぱい体験してほしいと思います。障害者の方は街中では一人でなかなか行動が出来ない場合があると思いますが、勇気を持って周囲の人に助けを求めてみる事が大切だと思います。そしてその行為が双方にとって「あたりまえのこと」になってくれればと思います。

「障害者生活支援センターたかまつ」のホームページはこちら

<http://ww81.tiki.ne.jp/shogai-shien/takamatsu/>

【場所】



センター外観

インタビュー実施日：H21.7.14(火) 聞き手：今西、長谷部

交通消費者行政レポート（平成20年度報告）を発行

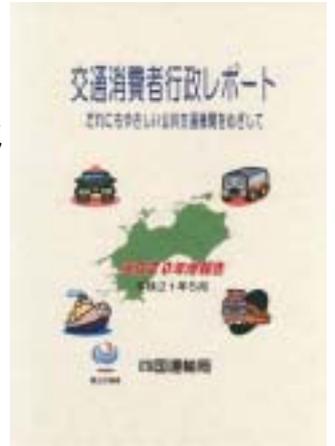
平成20年度の交通消費者行政をとりまとめた「交通消費者行政レポート」を5月に発行しました。

当レポートは、行政相談、交通アドバイザー会議、消費者行政インタビューの各概要と、交通バリアフリーの推進として、四国における交通バリアフリー推進基本方針の概要、四国における交通バリアフリーの現状、平成20年度における交通バリアフリー推進の取り組みなどを紹介する内容となっています。

なお、レポートは四国運輸局ホームページに掲載しています。

URL : <http://www.ttb.milt.go.jp/shikoku/soshiki/koutsuu/report.html>

ここでは、行政相談について紹介します。



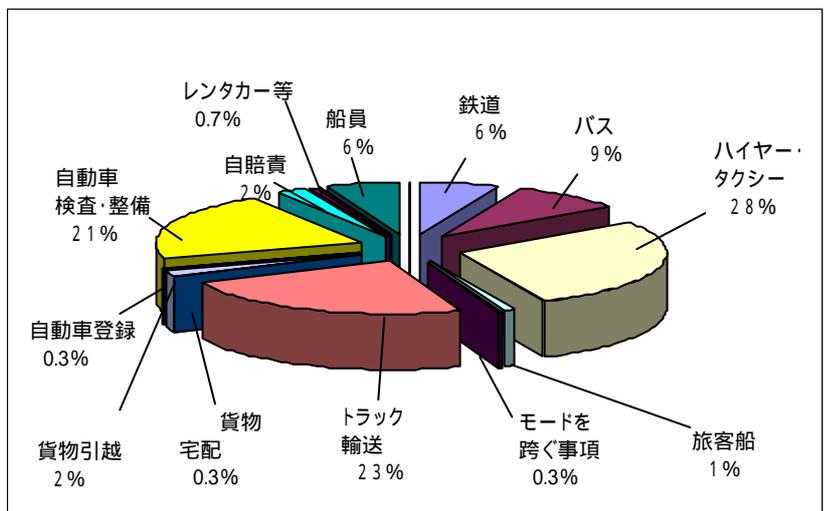
行政相談

四国運輸局では、交通に関する意見、要望、問い合わせ、苦情等の行政相談に対応するため、運輸局及び運輸支局等に行政相談窓口を設置し、国民利益の保護と行政運営の改善を図っています。

行政相談の傾向

モード別の行政相談件数割合は右図のとおりであり、相談内容は、意見・要望が67%を占めています。

平成20年度モード別割合(意見・要望、問い合わせ)



鉄道に関する相談例

<相談内容>

ある駅の窓口において切符を購入したところ、印字が薄く、行き先等の記載が不明瞭でした。切符として無効ではないのでしょうか。

<措置>

事業者を確認したところ、駅によっては旧式の機器を使用しており、印字が薄く内容等が確認できないものがあったため、今年度中に新機器に更新する予定でしたが、申し立てを受け、月末までに交換することの報告を受けました。その後、交換が完了した旨の報告がありましたので、相談者に報告内容を伝えたところ、納得いただきました。

バスに関する相談例

<相談内容>

あるバス会社の高速バスに乗車するためバス待合室で待っていました。バスが来たので乗車しようと荷物を持って待合室から出ようとしたらバスが出発してしまいました。待合室がある場合、出発前に運転手が声をかけるべきではないのでしょうか。また、会社へ電話しましたが対応が非常に悪かったです。

<措置>

事業者を確認したところ、事実を認めた上で、乗務員等に厳重指導し、今後ミーティングで全社員の指導を行うとのこと、また、電話の対応については誰が出てても会社の代表であることを自覚して対応するように指導したとの報告がありました。

進んでいます！バリアフリー

前号ではバリアフリー化された鉄軌道駅を紹介しましたが、紹介しきれていない駅について今回紹介します。

高松琴平電気鉄道(株) 琴平線栗林公園駅、土佐電気鉄道(株) 高知駅前電停です。

高松琴平電気鉄道(株)



琴平線栗林公園駅(スロープ)



琴平線栗林公園駅(スロープ)

土佐電気鉄道(株)



高知駅前電停(後ろはJR高知駅)



高知駅前電停(JR高知駅側から)



運賃表や路線図

バリアフリー手帖を持って出かけませんか ～「さぬき路鉄道駅のバリアフリー手帖改訂版」を発刊しました～

香川県内の鉄道駅のバリアフリー情報をまとめた「さぬき路鉄道駅のバリアフリー手帖」については発刊から3年が経過しましたが、その間にバリアフリー新法が施行され、一体的・総合的なバリアフリー施策が推進されるなかで、鉄道駅においてもバリアフリー化が進んできています。

この度、これらの情報を更新し改訂版を発刊しました。四国運輸局ホームページにも同情報を掲載しており、必要な箇所が印刷できるようになっています。

なお、冊子の配付を希望される方は下記電話番号またはメールアドレスまでお問い合わせください。

冊子名：お出かけしませんか さぬき路鉄道駅のバリアフリー手帖

サイズ：A5版80ページ

主な内容：路線図（駅配置図）、駅情報一覧、各駅情報、エレベーター設置駅位置図、多機能トイレ設置駅位置図

ホームページURL：<http://www.tb.milt.go.jp/shikoku/barrierfree/>



みなさんからのご意見・ご投稿をお待ちしています。バリアフリーに関するものならなんでも結構です。四国運輸局消費者行政課まで、FAXまたはメールでお寄せ下さい。

〒760-0064 香川県高松市朝日新町1-30

電話：087(825)1174

FAX：087(822)3412

Email: Shikoku-shohisha@skt.mlit.go.jp



国土交通省

[四国運輸局ホームページ](http://www.tb.mlit.go.jp/shikoku/) <http://www.tb.mlit.go.jp/shikoku/>

このニュースは交通バリアフリー関係の話題を中心にして、4県自治体のバリアフリー関係担当部署、交通事業者及び地域のNPOの方にお送りしています。

ニュースの配信につきまして、配信先の追加、変更や停止をご希望される方は、お手数ですが本メールの返信機能でご連絡ください。